

# 私たちの大切な地域医療を守るために

## ～郡上市の今後の地域医療を

## みんなで一緒に考えよう～



▲県北西部地域医療センター  
後藤センター長

### 本シリーズを振り返って

この地域医療特集では、一年間にわたって、市内の先生方に郡上の地域医療の現状や課題などを執筆いただきましたが、読者のみなさんはどんな感想をお持ちになったでしょうか？片桐先生（郡上市民病院…5月号）、鷺見先生（鷺見病院…6月号）、坂本先生（八幡病院…7月号）、篠田先生（郡上市民病院…9月号）からは、これからの人口や社会構造の変化あるいは財政課題のもとで、郡上に適した医療・介護サービス体制を考えていかなければならないこと、特

医療を取り巻く環境は大きく変化し、特に私たち郡上市のような地域では、医療環境の維持が難しくなっています。そのような中で市民のみなさんの健康を守っていくためには、行政や医療機関だけでなく、市民のみなさんのご理解とご協力が不可欠です。そこで郡上市における地域医療の現状や課題等を広く知っていただくため、病院や医師の先生方にご協力をいただいで広報誌でお知らせしています。

第12回、シリーズ最終回となる今回は、県北西部地域医療センター長兼国保白鳥病院長 後藤忠雄（ごとうただひさ）さんに寄稿いただきましたのでご紹介します。

に、岐阜県は人口10万人当たりの医師数が、全国でも少ない方であり、さらに県内では、郡上市のある中濃医療圏が最も少なく、今後も医師の増加がそれほど期待できないこと、そのため、郡上市での医療体制を長期的に継続していくためには、今までであったものを当たり前と思わず、また、自分の身近な地域のことだけではなく郡上市全体の医療を考えていくことが協力して欲しいということが書かれていました。

そして、市民のみなさん一人ひとりに期待することとして、杉下先生（杉下医院…4月号）、片桐先生（郡上市民病院…5月号）、岡部先生（岡部内科…2月号）からは、かかりつけ医を持つこと、上手な医療機関へのかかり方を考えること、郡上で学ぶ研修医たちを温かく見守っていただくこと、

医療専門職の人で郡上で働いてもよいという人にアンテナを張っていただきたいこと、様々な地域医療を知る機会に積極的に参加していただくこと、そして、何より自分の健康を見つめ直し自分自身で守ることなどが書かれていました。

その健康を守るという点では、坂本先生（八幡病院…7月号）、澤崎先生（沢崎医院…8月号）、杉本先生（鷺見病院…10月号）、堀谷先生（堀谷医院…11月号）、林先生（大和医院…12月号）、竹内先生（慈恵中央病院…1月号）からは、特定健診やがん検診を受診すること、脳卒中や糖尿病、インフルエンザといった病気の予防に取り組むこと、身体的なことだけでなく、精神的にも健康であること、お薬手帳の上手な使い方などが書かれていました。

みなさんにとって、医療とはどんな存在でしょうか？もちろん、生活になくてはならないものですが、なかなか日常生活の中で意識されることは少ないと思います。しかし、医療も地域にある資源のひとつです。資源は大切にしなければなりませんし、有効に使わなければなりません。過去にあつた人口増加をはじめとする右肩上がりの時代から、人口減少を主とする右肩下りの時代に転じています。郡上市では、すでに65歳以上人口ですら減少する時期に入ってきており、それ以上に若者の人口減少が著しいために高齢化率が伸びている状況です。したがって、医療・介護を支える人材も減少しています。

人口減少は、医療需要の低下にもつながるため、今後も医師の招へいは容易ではないと

思われます。したがって、限られた資源を有効に使うためにネットワークを組んだり、機能分化あるいは選択と集中といったことを考え始めなければならなくなっています。

みなさんも、ぜひ、この医療という限られた資源の利用に十分ご配慮ください。そのきっかけとして、もう一度広報のこのシリーズを最初からお読みいただくのも一つ、市内で行われている地域医療フォーラムなどに参加いただくのも一つ、ぜひ、郡上の地域医療に関心を持ってください。そして、何か取り組めることがあればお取り組み下さい。さらに、何よりご自身の健康を守ることをしてください。

私たち医療介護従事者も努力します。みなさんと、より一層健康でいきいきとした郡上を創っていきましょう。